

広臨技ホームページ <http://www.hiroringi.or.jp/>
 (i-mode 用 <http://www.hiroringi.or.jp/i/>)

平成 19 年度第 2 回定期(予算)総会開催される

平成 20 年 3 月 2 日(土) 広島鉄道病院 大会議室において平成 19 年度第 2 回定期(予算)総会が開催されました。

中川事務局長の司会進行により定期総会に入り、水野副会長の開会の辞に続き、谷口会長挨拶では、今年度の広臨技の事業が円滑に進み、各種行事に対する会員の皆様の協力と深いご理解を受け賜った事への感謝とお礼が述べられた。続いて、3月20日に逝去された当技師会顧問 広島県議会議員 窪田泰三先生のご冥福を祈り、総会参加者全員で一分間の黙祷を捧げました。

総会議長に広島大学病院の荒瀬隆司技師が任命され、円滑な議事進行のため皆様のご協力を宜しくお願い致しますとの挨拶の後、総会役員が選出された。

資格審査委員兼議事運営委員に小原忠博(広島赤十字・原爆病院)、平原智恵美(独立行政法人国立病院機構呉医療センター)、高橋千波(財団法人広島県健康福祉センター)、和田栄津子(福山市医師会臨床検査センター)、田中美樹(広島市立広島市民病院)の5名の技師、また書記には笹谷真奈美(厚生連広島総合病院)、高夫智子(済生会広島病院)の2名の技師、議事録署名人には新田和雄(県立広島病院)、谷口 薫(広島市立広島市民病院)の2名の技師が任命された。

総会は、総会員数 1410 名に対し、出席者 56 名、書面表決票 260 名、委任状 776 名、出席者総数 1092 名で会員の過半数に達し総会が成立すると小原資格審査委員長の報告および議事運営、時間配分等の説明後、各審議に入った。

第 1 号議案は平成 20 年度事業計画案で、谷口会長から**強い検査室作りへの支援**(病院機能評価受審、ISO15189 認定取得等を推進し、臨床検査室の信頼性の向上を図る。)2) **技師会業務の効率化**(各部局の業務運営マニュアルを整備し、技師会業務の効率化を図る。)3) **臨床検査技師の社会的アピールの推進**(公益事業を開催し、県民の福祉医療の向上に貢献する。中高生に対し、臨床検査技師の紹介業務を実施する。)4) **技師会組織の強化**(学術団体および職能団体としての両面の事業を積極的に推進する。検査研究部門活動を強化し、会員の生涯教育履修率を向上させる。論文投稿・学会発表・資格取得等の自己啓発を支援する。会員の力を結集する会員相互支援活動を実行する。)の4つの事業方針の提案がされ、引き続き事務局、学術部、経理部、渉外・法規部、組織調査部、広報部より各々事業方針の提案がされた。第 2 号議案の平成 20 年度一般会計予算案では櫻井経理部長より一般会計収支予算書(案)と収支予算書総括表(案)の説明と、広臨技事務所購入費返済原資積立計画(案)の提示がされた。第 1 号議案、第 2 号議案ともに拍手多数で承認された。

第 3 号議案は、役員推薦委員会委員長 泉 始(県立広島病院)技師より平成 20、21 年度役員推薦案が提示され、拍手で承認された。

緊急議案として会員より書面で 検体検査業務制限についての進捗状況の説明 をとの提示に対し、白石幸雄日臨技理事より厚労省との交渉等々の現状説明がなされた。

荒瀬隆司議長が質疑応答、緊急議案の提示の有無を再確認後、技師会のますますの発展と理事の方への感謝とお礼を述べられ、総会役員・書記の解任、板羽副会長の閉会の辞により無事終了した。

総会終了後、白石幸雄日臨技理事より 検体の学外（院外）への提供について 日臨技理事会報告が行われた。報告内容は以下に掲載しますが、技師会会員の皆様は熟読し、改めて法令遵守を徹底して下さい。

検体の学外（院外）への提供について考慮すべき事。

1. 患者は診療を受ける目的で検体の採取に応じている。よって他の目的に使用することには疑問が出る可能性が高い。
2. 提供した検体の個人特定が出来ないこととする。
3. 対価について明記すること。有料であってもかまわないが組織（病院）決定しておくこと。
4. 危険性の問題を考慮しておくこと。郵送等
5. ガイドラインを作成しておくこと。組織での決定が大切。どういう場合に可能かなど。

検体検査の残存検体の取扱（プール血清の取扱） 日本医学検査医学会の見解

1. 臨床検査室の管理者（以下、管理者）および業務・研究担当者はいずれも、被検者の個人情報や検査データについての守秘義務を順守し、被検者が不利益を被らないようにしなければならない。なお、管理体制については、各施設内で改めて討議し、定める必要がある。
2. 残存検体の「業務への使用」は、通常、プール化および/または匿名化して行う。その限りにおいて、個々の同意を特に必要としないが、取扱いには管理者が責任を持つ必要がある。「教育のための使用」についても、「業務への使用」に準じて処理、管理がなされなければならない。
3. 残存検体の「研究への使用」には、原則として、被検者から文書による同意を得る必要がある。ただし、測定法の改善や異常値の解明などの検査業務に直接関連する研究では、検体をプール化および/または連結不可能匿名化する場合はこの限りでない。一方、連結可能匿名化して用いる場合は、研究担当者と管理者は被検者に対する守秘を厳重にし、その取扱いには管理者が責任を持つ必要がある。検査業務に直接関係しない研究の場合は、各研究担当者と管理者の判断で、当該施設の倫理委員会の審査を受けることを原則とする。
4. 残存検体の分与および廃棄は、管理者が責任を持って行わなければならない。

病理検体を学術研究、医学教育に使用 日本病理学会の見解

近年、遺伝子研究を中心とする医学研究の新しい展開に伴い、病理検体（診断および治療の目的で生検、外科手術、剖検等によって患者より採取された組織・細胞を言う）を学術研究や医学教育（研究・教育）に用いるにあたっての対応の見直しが求められている。本理事会はこの問題について検討し、以下の諸点の認識と実行が必要であるとの結論に至ったので、ここに見解として発表する。本見解は病理検体取り扱いの倫理性にかかわる問題に直面している会員への指針であるが、同時に日本病理学会の本件についての考えを広くご理解頂くために、会員外にへも発表するものである。

1. 病理検体を持ちいた研究・教育を行うにあたっては、高い倫理性をもってこれを行うことが必要である。ここでいう倫理性の中には、患者のプライバシーの十分な保護、患者の尊厳、人権、利益の十分な尊重、研究目的と手段が科学的に理にかなったものであることなどが含まれる。

これらの倫理的要件を保障するために、各診療機関、および研究・教育機関は（１）これらの要件をそれぞれの機関がもつ倫理綱領のなかに具体的に書き込むこと、また（２）研究・教育の実施に先だつてその計画が倫理綱領を逸脱していないことを審査し、また実施に際してこれを監視する機構（倫理審査委員会等）を設け、部外者が理解できるような透明性をもった形でそれを機能させること等が必要である。

2. 病理検体のうち、診断に要した部分をのぞいた余剰分を、医学、医療の進歩のために研究・教育に使用するに際しては、そのことについて事前に患者もしくは代諾者（親権者、親族等）から文書による同意を得ることが望まれる（ホームページに例文資料あり）。
3. 第一項、第二項に記載した倫理的要件が備わっている場合、病理検体を研究・教育に使用することはその必要性、重要性に鑑み工程的に捕らえられるべきである。このことは病理検体を用いた遺伝子解析についても同様である。
4. 研究・教育機関は病理検体を用いた研究・教育を実施するにあたっての規則を定めておく必要がある。その規則には、上記第一項、第二項を明記すること、検体管理監督責任者としての診療機関長及び検体管理責任者としての病理医等の責務等を明記すること、診療機関に提出する検体使用申請書および実施状況報告書の様式を示すこと、さらに留意事項として病理医等の検体管理責任者の理解と協力が研究実施のひとつの前提であることと、その計画の実行にあたって病理診断業務を阻害してはならないことなどが書き込まれることが必要である。また診療機関は研究者・教育者より病理検体を使用した研究・教育を実施したいとの申請があった場合、審査および実施状況点検の方法について明確にしたうえでこれに対応する必要がある。
5. 病理医は、その業務上の必然性から病理検体の管理責任者の役割を担っていることに鑑み、病理検体を用いた研究・教育の計画に対しては、検体管理責任者としての立場から倫理審査に加わることが望まれる。さらに病理医は、承認された研究・教育に対して、業務上許容できる範囲内において積極的に協力すべきであり、他方ではそれが正当に行われているか否かを監視する責務を与えられるべきである。病理医が病理診断業務を円滑に行い、かつ検体管理責任者としての任務を十分に果たすために、病理医についての強固な社会的認知と育成が必要である。

詳細は日本医学検査医学会ホームページ（<http://www.jscp.org/kentai.htm>）

日本病理学会ホームページ（<http://www.genome.tokushima-u.ac.jp/dgi/JAPDGI/pathology.htm>）
でご確認ください。

訃 報

広島県議会議員で（社）広島県臨床検査技師会顧問の窪田^{くぼた}泰三先生が、平成20年3月20日（木）に逝去されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

連絡者責任者会議報告・討議内容議事録

開催日：平成20年3月1日(土) 13:00～13:55

場所：広島サンプラザ 3F 羽衣

内容

技師会報告 谷口会長

1. 日臨技報告

1月26日に代議委員会に出席した。(広島県委員は、谷口会長と板羽副会長)

H19年度事業中間報告として、

- ・監理企画調整部では、ITを利用し、時間・経費の節減および地域の活性化を図っている。
- ・特別委員会(5委員会とも継続)があり、その中の、学会あり方委員会は、平成22年度より新しい学会開催・運営方式を採用することを決定した。
- ・日本臨床衛生検査技師会は、役員の有給制を検討している。
- ・日臨技創立55周年(法人化45周年)記念式典が2月8日に開催され、厚生労働大臣表彰に全国88名が受賞した。広島県は、白石幸雄氏、吉岡孝行氏、谷口薫氏(敬称略)が受賞された。
- ・8地区 JointFORUM として、大型街頭 VISION を用い「エイズ予防啓発」CMを作製放映した。(放映時間が短時間であり、「もう少し作り方を工夫されたらどうでしょうか?」という意見が出された。) 広島県も今後、市と共同で「エイズ予防啓発」事業を実施していく。
- ・先般、AED 実技講習会を実施。
- ・「会長を囲む夕べ」に補助金が出ていたが、会長の交通費のみを支給し、補助金なしで継続していく。
- ・12月1日現在の会員数は、49,196名(新入会員3,156名)である。
- ・新潟県中越沖地震への募金活動を行い、義援金300万円を新潟県臨床検査技師会に寄託するセレモニーが行われた。
- ・臨床検査技師賠償責任保険の加入者が少ないので、施設の方々に加入を勧めていただきたい。
- ・日臨技では、永年職務精励賞は、従来の満55歳以上から「表彰を受ける年の4月1日をもって満50歳以上」に改正される。
- ・8月23、24日輸血認定技師試験が開催される。
- ・中四国学会の会費が4千円から5千円に変更される。

2. 中国会長会議

- ・来年度は、日臨技の選挙管理委員は島根県、役員推薦委員は山口県と決定した。
- ・島根県の深田先生が、中国地区の名誉会員に決定した。

報告事項1 板羽副会長

1) データ標準化について

- ・広島県の臨床検査標準化委員会は、基幹病院として、広島大学病院、県立広島病院、厚生連広島総合病院、広島赤十字・原爆病院の4施設を日臨技に推薦した。
- 各地区からは、広島市立広島市民病院、吉島病院、三次医師会病院、済生会広島病院、府中総合病院、福山臨床検査センターを選出し、委員長を県立広島病院の新田和雄氏に決定した。
- ・プール血清を作成し、正確で精密な検査データを提供、共有化していくため、各施設に協力を要請した。

2) プロモーションコードについて

- ・「不祥事の再発防止対策等」についての説明会があった。
- ・事例2例について提示があった。

報告事項2

【事務局】

- ・来年度の予算計画として、事務所のコピー機を購入する予定である。
- ・事務所のコンピュータが古いため、1台を更新する。

【学術部】

- ・18・19年度は、研修会、県学会、中国地区地方会等が例年以上に多く開催された。
- ・会員の業績による広臨技への投稿数は2年で14件であった。
- ・各県の推薦優秀投稿論文は、現在4件である。
- ・細則の見直しを行い、来期から6部門9領域を基本にする。
- ・各部門長には、経理(部)の勉強会をしていただき、切詰めた予算内で研修会等を開催した。
- ・昨年アンケート調査(621名)を行い、調査結果を会誌に掲載する予定である。

【経理部】

- ・事務所のコピー複合機の購入は、H17、18年度繰越金を当てる予定で予算を立てている。
- ・臨床検査標準化委員会新設に伴い、活動費を予算化した。
- ・会費納入時に、振込用紙を使用せず、自分の口座から振込まれる方がいるため注意を促した。
- ・公的法人になるか一般法人になるかによって、今後は会計の報告が変更される。

【広報部】

- ・速報を毎月1回、会誌を年2回発行した。定款規程細則集を3月に発行した。
- ・ホームページの充実を図るため、今後ホームページに関するアンケート調査を実施する予定。

【渉外・法規部】

- ・2月1日安田女子高校において、10:30~12:00に臨床検査技師職業紹介を行った。
- ・エイズ撲滅運動を県・市の協力で、H20.6月に広島市民球場でイベント行事を行う予定。また、夜間のエイズ検査を流川周辺で、広島市保健課とともに実施予定。
- ・公的法人に関しては、H20年から5年をかけて、公的法人か一般法人かを選択していく必要がある。
- ・3月に表彰委員会を開催し、平成19年度の候補者を決定する。

【組織調査部】

- ・国際交流事業として中国へ10月21日に出発し、橋本洋副会長、沖土居道栄技師(広島市立安佐市民病院)、尾田三世技師(広島大学病院)の3名が、学術講演をした。今後、報告会を予定している。
- ・エキスペリエンスネットワーク(EPN)を立ち上げて約2年になるが、色々と相談したい事柄を会員同士、情報交換できるように、今後も継続していく。

質疑応答

- ・プロモーションコードを配布して欲しいとの要望があった。
プロモーションコードはオープンに出来ないので、類似資料で、会員皆様へお渡し出来るようにする。

厚生労働大臣表彰を3氏が受彰 - 白石幸雄氏、吉岡孝行氏、谷口 薫氏 -

平成20年2月8日(金)ホテルオークラ東京で開催された、社団法人日本臨床衛生検査技師会創立55周年(法人化40周年)ならびに法改正記念式典において、社団法人広島県臨床検査技師会関係では、白石幸雄氏、吉岡孝行氏、谷口 薫氏の3氏が厚生労働大臣表彰を受彰されました。

永年にわたり、臨床検査技師として、後輩の指導育成と(社)広臨技の執行に対して、顕著な功績が認められ、今回の受彰となりました。

3氏の受彰は(社)広臨技においても大変喜ばしいことであり、先生方の益々のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

平成20年度第5回理事会議事録

開催日：平成20年3月22日(土) 15:00～16:30

場 所：広島鉄道病院 大会議室

参加者：谷口、板羽、橋本、水野、藤上、足免、櫻井、森田、矢野、小野寺、中川、河田、広山、
小林、小原、左右田、平原、岡野、枝広、山下、高澤、石竹、吉井、桂、丹下、新田、若林、
米田、壽川、田中、河岡、竹本、播野、荒瀬、金子、平賀、笹谷、櫛田、新川、巻幡

書 記：組織

《報告事項》

1. 平成20・21年度精度管理委員会委員9名を推薦している。 理事会承認された。

平成20・21年度 (社)広島県臨床検査技師会 精度管理委員会

	氏 名	所 属
委員長	金本 実	三次地区医師会臨床検査センター
一般検査	河野 雄一	済生会呉病院
血液検査	川淵 靖司	中国労災病院
生化学・免疫血清検査	室 暢彰	吉島病院
輸血検査	高野 孝江	県立広島病院
微生物検査	小原 忠博	広島赤十字・原爆病院
細胞検査	青木 章乃	J A 吉田総合病院
病理検査	和田 栄津子	福山市医師会総合健診センター
生理検査	西島 敬治	広島赤十字・原爆病院

2. 平成20・21年度選挙管理委員会委員に7名を推薦している。 理事会承認された。

平成20・21年度選挙管理委員会

久保 敬司	広島市立安佐市民病院
熊川 良則	広島市医師会臨床検査センター
市川 真一	広島赤十字・原爆病院
枝広 良伸	三菱三原病院
新山 尚司	三次中央病院
向田 直美	福山臨床検査センター
児玉 朱実	東広島医療センター

3. 平成20・21年度役員推薦委員会委員に7名を推薦している。 理事会承認された。

平成20・21年度役員推薦委員会

山田 純子	マツダ病院
鈴木 忠子	広島大学病院
丸川 健一	広島市立広島市民病院
岡野 慎一郎	因島総合病院
緋田 裕二	安芸大田病院
石本 昌子	呉市医師会検査センター
野村 英幸	県立安芸津病院

4. 新旧役員による担当業務引継ぎ

(社) 広島県臨床検査技師会 平成20・21年度役員業務分掌表

役 職 名	氏 名	所 属	担 当
会長	板羽 秀之	広島大学病院	
副会長	水野 誠士	厚生連広島総合病院	学術、経理
副会長	足免 弘章	広島原爆対協健康管理増進センター	渉法、事務局
副会長	丹下 富士男	呉共済病院	組織、広報
常務理事	小野寺 一	広島大学病院	事務局長
常務理事	藤上 良寛	県立安芸津病院	学術部長
常務理事	竹本 幸夫	広島三菱病院	渉法部長
常務理事	小原 忠博	広島赤十字・原爆病院	経理部長
常務理事	矢野 礁風	マツダ病院	広報部長
常務理事	田中 美樹	広島市立広島市民病院	組織調査部長
理 事	金子 佳恵	広島大学病院	事務局次長(経理副)
理 事	米田 登志男	広島赤十字・原爆病院	学術副部長
理 事	河岡 久美子	広島市医師会臨床検査センター	渉法副部長
理 事	壽川 千代美	広島市立広島市民病院	経理副部長
理 事	荒瀬 隆司	広島大学病院	学術副部長
理 事	播野 俊江	広島市立安佐市民病院	広報副部長
広島地区理事	河岡 久美子	広島市医師会臨床検査センター	兼務
広島地区理事	荒瀬 隆司	広島大学病院	兼務
東広島地区理事	平賀 祐子	井野口病院	
呉地区理事	平原 智恵美	国立病院呉医療センター	
西部地区理事	笹谷 真奈美	厚生連広島総合病院	組織調査副部長
北部地区理事	広山 和則	庄原赤十字病院	組織調査副部長
東部地区理事	櫛田 あけみ	中国中央病院	
東部地区理事	新川 俊也	松尾内科病院	
東部地区理事	巻幡 信広	尾道市立市民病院	組織調査副部長
監 事	新田 和雄	県立広島病院	
監 事	若林 信浩	広島市立安佐市民病院	
事務員	室積 京子		
参与	安松 弘光	山陽女子短期大学	
参与	白石 幸雄	山陽女子短期大学	
顧問	神辺 眞之		
顧問	亀井 郁夫		
日臨技代議員	板羽 秀之		
日臨技代議員	水野 誠士		
連盟責任者	水野 誠士		

平成20・21年度（社）広島県臨床検査技師会 学術部門員及び精度管理委員

2008.4.5現在

部門	領域	役務	氏名	所 属	部門	領域	役務	氏名	所 属			
形態検査部門	血液検査		淵上 浩美	県立広島病院	感染制御部門	微生物検査		木村 公重	広島市立広島市民病院			
			巻幡 信広	尾道市立市民病院				白井 和美	J A 広島総合病院			
			川淵 靖司	中国労災病院				森 三郎	尾道市立市民病院			
			手島 祐子	広島原爆障害対策協議会				小濱 邦彦	中国労災病院			
			中島 静	広島市立安佐市民病院				辻 隆弘	庄原赤十字病院			
			松本 淳子	呉共済病院				金本 隆司	J A 尾道総合病院			
			小松原享子	広島大学病院				重森 千夏	J A 吉田総合病院			
			山下 典子	広島赤十字・原爆病院				須々井尚子	市立三次中央病院			
			霜津 宏典	J A 広島総合病院				桑原 隆一	J R 広島鉄道病院			
		岡田 卓也	広島鉄道病院				清水 里美	県立広島病院				
							長岡 里枝	広島大学病院				
	形態検査部門	一般検査		河野 雄一			済生会呉病院	生理検査部門	機能・画像検査		島谷 文彦	尾道市立市民病院
				本田 太一			済生会広島病院				青木 健	マツダ病院
				山下 美香			J A 広島総合病院				守本 容子	尾道市立市民病院
				若松 宏子			広島市立広島市民病院				西岡基公子	広島市立安佐市民病院
			勝丸 麻子	広島大学病院		濱田 麻紀	広島大学付属病院					
			内田久美子	J R 広島鉄道病院		河内さおり	J A 吉田総合病院					
			金子 英	広島市医師会臨床検査センター		難波 浄美	県立広島病院					
			石橋 健	J R 広島鉄道病院		中山 典子	本永病院					
			中原 幸子	片岡内科クリニック		浅野 清司	広島赤十字・原爆病院					
		中宮 茂雄	三原赤十字病院		瀬戸 学	庄原赤十字病院						
病理・細胞検査			和田栄津子	福山市医師会臨床検査センター		稲葉 千里	呉共済病院					
			池田 隆文	済生会広島病院		岸本 由香	広島市立広島市民病院					
			坂根 潤一	呉医療センター		箕岡 博	市立三次中央病院					
			金子 佳恵	広島大学病院		吉田 尚康	県立広島病院					
			小路伊奈子	広島赤十字・原爆病院		小松 浩基	J A 広島総合病院					
		福原 由美	広島市医師会検査センター									
形態検査部門	病理・細胞検査		法村 真一	広島大学医歯薬総合研究科 分子病理学研究室	移植検査部門	輸血検査		藤井 明美	県立広島病院			
			河谷 友紀	福山臨床検査センター				荒谷千登美	呉共済病院			
			相部 晴香	J A 尾道総合病院				小野寺利恵	広島大学病院			
			青木 章乃	J A 吉田総合病院				川尻なごさ	広島県赤十字血液センター			
			西村 俊直	呉医療センター				川淵 靖司	中国労災病院			
			永田 拓生	広島記念病院				熊沢 鈴子	市立三次中央病院			
			大西 志穂	広島大学病院				小池いづみ	広島市立広島市民病院			
			木戸久美子	済生会広島病院				笹谷真奈美	J A 広島総合病院			
			田中 信利	広島市立安佐市民病院				芝 昭博	広島赤十字 原爆病院			
			和田 健一	広島赤十字・原爆病院				鈴木佳寿美	広島県赤十字血液センター			
			池田 征幸	市立三次中央病院				高野 孝江	県立広島病院			
			神田 真規	J A 尾道総合病院				平岡 朝子	広島大学病院			
								矢野 有美	マツダ病院			
								山本 詩子	中電病院			
		生物化学分析部門	臨床化学検査				岩増 良雄	J A 広島総合病院	総合管理部門	管理・運営		飯伏 義弘
	大隈 泰志			中電病院		岡田 光典	広島記念病院					
	重村 和政			三次市医師会臨床検査センター		幸山 隆志	広島市医師会臨床検査センター					
	室 暢彰			K K R 吉島病院		若林 信浩	広島市立安佐市民病院					
	古川 容			福山医療センター		丸川 健一	広島市立広島市民病院					
	森本 隆行			広島大学病院		木村 充	中国労災病院					
免疫血清 遺伝子・染色体検査			竹下 武範	広島大学病院		岩本 光実	広島大学病院					
			米家 泰子	広島大学病院		山本加代子	J A 広島総合病院					
			藤代 悦子	J R 広島鉄道病院								
			橋本 義昭	広島赤十字・原爆病院								
			濱家 満江	県立広島病院								
			道本ゆう子	県立広島病院								
			脇坂 知苗	広島市立広島市民病院								
			山田 尚子	マツダ病院								
			細谷 勝己	J A 尾道総合病院								
	吉岡美弥子	広島大学病院										
	福岡 達仁	J A 広島総合病院										
	左右田 貢	県立広島病院										
	佐藤 恵子	福山市医師会臨床検査センター										
	横田 香子	国立病院機構呉医療センター										

役務： : 部門長 : 領域責任者

平成20年度 血液領域 研修会開催予定のご案内

第一回血液形態セミナー

日時 : 5月17日(土) 15時~18時

会場 : 広島鉄道病院

テーマ : これから血液検査をはじめの方へ

赤血球系の基礎から形態所見まで

小松原 享子 (広島大学病院)

白血球系の基礎から形態所見まで

松本 淳子 (呉共済病院)

血小板系の基礎から形態所見まで

山下 典子 (広島赤十字・原爆病院)

平成19年度広島県医師会精度管理

調査形態部門血液領域についての解説

川淵 靖司 (中国労災病院)

第二回血液形態セミナー

日時 : 6月21日(土) 15時~18時

会場 : サンプルートホテル広島 楓の間

テーマ : 白血病の形態所見による判別方法(仮題)

板場 幸治 (防衛医科大学校病院)

第三回血液形態セミナー

日時 : 7月12日(土) 14時~18時

会場 : 広島大学病院 保健学科

テーマ : 検鏡実習(正常末梢血から反応性病変)

顆粒球系の判別方法

(芽球~分葉核球まで)

中川 浩美 (呉共済病院)

赤血球・血小板系の見方

巻幡 信広 (尾道市立市民病院)

単球・リンパ球・異型リンパ球の見方・考え方

川淵 靖司 (中国労災病院)

10症例 検鏡

標本提供施設

10症例 解説

第四回血液形態セミナー

日時 : 9月20日(土) 15時~18時

会場 : 未定

テーマ : MDSの基礎から臨床

血液内科医師(川崎医科大学)

第五回血液形態セミナー

日時 : 10月18日(土) 15時~18時

会場 : 広島鉄道病院

テーマ : 基礎を振り返ろう、そして目指せ認定試験

血液検査データの見方・考え方

手島 祐子 (広島原対協)

血液疾患の見つけ方

中島 静 (広島市立安佐市民病院)

認定血液検査技師受験対策

有谿 俊一 (済生会呉病院)

第六回血液形態セミナー

日時 : 12月13日(土) 15時~18時

会場 : 未定

テーマ : 凝固・線溶系の基礎から臨床まで

血液内科医師(未定)

第七回血液形態セミナー

日時：平成21年1月24日(土) 15時～18時

場所：未定

テーマ：血液・輸血合同研修会

血液疾患における輸血検査の問題点と解決策
輸血検査に影響を与える血管疾患
総合ディスカッション

荒谷 千登美(呉共済病院)
淵上 浩美(県立広島病院)

第八回血液形態セミナー

日時：平成21年3月10日(土) 13時～18時

場所：広島大学病院 保健学科

テーマ：検鏡実習(正常末梢血から反応性病変そして腫瘍性疾患まで)

反応性病変と腫瘍性疾患の見分け方

三舛 正志(厚生連広島総合病院)

幼若細胞の判別方法(骨髄系・リンパ系・単球系等・・・)

塔村 亜貴(広島赤十字・原爆病院)

細胞表面抗原と遺伝子・染色体検査の見方・考え方

川淵 靖司(中国労災病院)

15症例 検鏡

標本提供施設

15症例 解説

9月と12月の講師は未定ですが、血液内科医師にお願いをしております。

病理検査室におけるホルマリン(ホルムアルデヒド)液に関して

このたび、特定化学物質障害予防規則の改正が行なわれ、ホルムアルデヒドが特定化学物質の第3類から第2類へ変更されました。そのため、以下のことが義務付けられました。違反すると罰金または懲役が科せられます。

発散抑制措置として換気設備等の設置をする。

作業環境測定を6ヶ月に一度行い、評価し必要な改善を行う。

ホルムアルデヒド濃度測定記録及び評価の記録、作業の記録を30年間保存する。

許容濃度および管理濃度を0.1ppm以下とする。

ホルムアルデヒドのガスが発散する場所での常時勤務者に対しては、6ヶ月に一回定期健康診断を行わなければならない。

特定化学物質作業主任者を選任し管理点検監視を行なう。

詳しくは、厚生労働省のホームページで確認してください。

http://www.hyougo-roudoukyoku.go.jp/topics/tokuteikagaku_kaisei.pdf

対象となる作業と含有率は、「ホルムアルデヒドを製造または取り扱う作業全般、重量の1%を超えて含有する製剤その他のもの。」となっています。臓器固定に使用するホルマリン液はホルムアルデヒド含有率約4～7.5%のため規制対象となります。

(文責 病理細胞検査領域委員 田中信利)

会員各位

平成 20 年 4 月吉日
広島県臨床検査技師会 学術部
血液領域長 淵上 浩美

平成 20 年度 第一回 血液形態セミナーのお知らせ
これから血液検査をはじめの方へ、そして基礎を振り返ろう -

拝啓

新緑の候、時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。平素は広島県臨床検査技師会の活動に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、新年度を迎えて血液検査室に多数の新人が配属されたり、ローテーションが行われたことと存じます。

また、2 年目、3 年目を迎える方やベテラン技師の方にも、もう一度初心に戻って血液検査の基礎を学んでいただこうと思い基礎的な研修会を企画しました。詳細に関しては下記に示します。

ご多忙中とは存じますが多数の参加をお願い申し上げます。

敬具

記

日時 平成 20 年 5 月 17 日 (土) 15 時から 18 時まで

場所 広島鉄道病院 2 階 会議室

テーマ 1 これから血液検査をはじめの方へ、そして基礎を振り返ろう

講演 1 赤血球系の基礎から形態所見まで
講師 1 小松原 享子 (広島大学病院)

講演 2 白血球系の基礎から形態所見まで
講師 2 松本 淳子 (呉共済病院)

講演 3 血小板系の基礎から形態所見まで
講師 3 山下 典子 (広島赤十字・原爆病院)

テーマ 2 平成 19 年度広島県医師会精度管理調査形態部門血液領域についての解説
解説者 川淵 靖司 (中国労災病院)

以上

問い合わせ先
県立広島病院 淵上 浩美 (082-254-1818)

第二回血液形態セミナーのお知らせ

拝啓

新緑の候、会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

血液領域では下記の内容で第二回血液形態セミナーを開催します。今回は防衛医科大学校病院の坂場幸治先生をお迎えしてご講演いただきます。ご多忙中とは存じますが、多数参加下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

日時 平成 20 年 6 月 21 日(土) 15 時から 18 時まで
会場 サンルートホテル広島 楓の間
広島市中区大手町 3 丁目 3 - 1 (082 - 249 3600)

講演 1 「セルダインサファイアを用いたフローサイトメトリーへの応用」

講師 橋本 裕 先生

(アボットジャパン株式会社 ヘマトロジースペシャリスト)

講演 2 「白血病の形態所見による判別方法(仮題)」

講師 坂場 幸治 先生(防衛医科大学校病院)

問合せ先：県立広島病院 臨床研究検査科 淵上 浩美

T E L (082) 254-1818 内線 1326

後援：アボットジャパン株式会社

感染制御部門研修会のお知らせ

新緑の候、会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。感染制御部門では、敗血症をテーマに下記の内容で研修会を開催いたします。

ふるってご参加ください。

- 記 -

日 時：平成 20 年 6 月 21 日(土) 14:30~17:00 (14:00 受付開始)

場 所：広島鉄道病院 2 階 大会議室(広島市東区二葉の里 3-1-36)

内 容：「新規な細菌性敗血症マーカー“プロカルシトニン”について」

和光純薬工業株式会社 臨薬営業本部西日本 CS 課 中井 剛史 先生

「敗血症とプロカルシトニン(仮題)」

広島大学病院 診療支援部 木場 由美子 技師

「敗血症の病態と治療(仮題)」

県立広島病院 麻酔集中治療科 須山 豪通 先生

(出席の際は、会員証をご持参ください)

平成 20 年 4 月吉日
広島県臨床検査技師会 学術部
形態部門 一般領域

尿沈渣講習会のご案内

拝啓

春色のなごやかな季節、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。このたび、下記の日程で尿沈渣研修会を開催いたします。

内容は、尿沈渣標本の作製から、基本的成分の解説まで、基礎的な研修会を計画しています。皆様振るってご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

日時 平成 20 年 6 月 22 日（日） 13：00～

場所 広島大学病院 保健学科 10 階 1006 実習室

内容	尿沈渣標本の作製法	本田太一	済生会広島病院
	尿沈渣成分の解説		
	血球系	石橋 健	広島鉄道病院
	上皮系	若松宏子	広島市立広島市民病院
	円柱系	山根博行	県立広島病院
	結晶系	金子 英	広島市医師会臨床検査センター
	異型細胞	山下美香	厚生連広島総合病院
	症例・まとめ	河野雄一	済生会呉病院

（敬称略）

定員 30 名程度

受講料 3,000 円

申込要項 別紙の「講習会申込書」に必要事項をご記入のうえ、郵送にて下記までお申込下さい。

後日、受講票・案内を発送します。

申込先・問合せ 〒737-0821 呉市三条 2 丁目 1-13 電話 0823-21-1601
済生会呉病院 臨床検査室 河野雄一 宛

(社)広島県臨床検査技師会

形態部門 一般領域
尿沈渣講習会申込書

ふりがな		性別	生 年 月 日
氏 名		男・女	T・S 年 月 日
勤務先名			
勤 務 先	〒		
所在地・電話	電話 () - - 内線		
会員番号		担当業務	
一般検査 経験年数	1年未満 1～3年 3年以上	その他 ()	
で囲んで ください	当直時のみ		
【通信欄】			
以上のとおり申し込みます			
氏 名			サイン
(下段へは記入しないでください)			
受 付	月 日		

平成20・21年度検査研究部門・担当領域委員及び
広報部委員・ホームページ委員の募集について

下記、検査研究部門の担当領域委員及び広報部・ホームページ委員を募集いたします。
検査研究部門において、研修会の企画や共有の研究テーマの立案を行いませんか？
広報活動やホームページに興味のある方は是非ご連絡ください。初心者でも構いません。

部 門	領 域
生物化学分析部門	臨床化学、免疫、遺伝子・染色体
生理機能検査部門	機能検査（神経・循環・呼吸・平衡感覚機能） 画像検査（画像）
形態検査部門	細胞、病理、一般、血液
感染制御部門	微生物（微生物・ウイルス・寄生虫・疫学）
移植検査部門	輸血（輸血・移植・生殖医療）
総管理部門	管理・情報（管理運営・精度管理・安全管理・情報管理）

氏名、会員番号、所属を記入の上、下記まで FAX にて応募してください。

応募先 広臨技事務所 FAX (082) 502-6031

広臨技求人のご案内

現在届いてる求人情報をお知らせいたします。(2008.4.1)

問合せ先 (社)広島県臨床検査技師会 事務所 FAX(082) 502-6031

技師会ホ-ムペ-ジから求人登録をすると求人の詳細をご案内します。

受付 No	受付日	施設形態	所在地区	雇用形態	採用人数	募集業務内容
101	平成 19 年 8 月 1 日	診療所	広島市中区	正社員	1名	検体検査、生理検査
102	平成 19 年 8 月 28 日	病院	広島市西区	正社員	1名	生理検査、検体検査
103	平成 19 年 9 月 25 日	病院	広島市中区	正社員	1名	臨床検査、その他医療業務
104	平成 19 年 10 月 2 日	診療所	広島市中区	パート	2名	臨床検査、その他医療業務
105	平成 19 年 10 月 9 日	診療所	東広島市	正社員	1名	採血業務、生理検査、看護補助
106	平成 19 年 10 月 22 日	診療所	広島市中区	正社員	1名	生化学検査
108	平成 19 年 11 月 21 日	診療所	東広島市	パート	1名	一般血液、生理検査
109	平成 19 年 12 月 14 日	診療所	広島市中区		各1名	健診業務、検体、心電図、超音波
110	平成 19 年 12 月 18 日	病院	広島市南区	臨時	1名	細胞診、病理組織
112	平成 20 年 1 月 11 日	病院	三次市	正社員	若干名	臨床検査、その他医療業務
113	平成 20 年 2 月 5 日	病院	福山市	パート	1名	臨床検査(生理機能、生化学)
114	平成 20 年 2 月 14 日	診療所	福山市	正社員	2名	主に癌免疫療法研究のお仕事
115	平成 20 年 2 月 14 日	病院	東広島市		若干名	
116	平成 20 年 2 月 15 日	病院	尾道市	臨時職員	1名	血液検査、一般検査など
117	平成 20 年 2 月 18 日	検査センター	呉市	正社員	1名	細胞診・病理検査(細胞検査士)

随想録

「踊る…」

藤原脳神経外科クリニック 伊藤陽子

ひところ、踊るポンポコリン、踊る大捜査線などという歌やドラマが流行りましたが、私は踊る検査技師です。昔からスポーツはかなり苦手で、球技大会なんかは大嫌い、バレーボールでは何度顔でレシーブを受けたことかわかりません。走るのも遅く、リレーなんてもってのほか、小中学校のマラソン大会では万年ビリと言われ続けていました。けれども踊ることは大好きで、これまでにフラダンス、ジャズダンス、よさこいソーランなど数々踊ってきました。その中で最も長く続けているのはバトントワリングです。

バトントワリングといってもあまりなじみがないかもしれませんが、昔から広島というところはバトンが盛んな土地柄で、私の通った中学校、高校にはバトン部があり、そこで汗と涙の青春時代を過ごしました。地元には子どもから成人までを対象としたバトンのサークルがあり、私とそのサークルのお世話を始めたのは当然のなりゆきです。

私がサークルに入ってから経ったころ、私たちのサークルはフラワーフェスティバルのパレードに参加することになりました。その時は、パレードに参加するメンバーの手伝いをするだけ...と思ってついて行きましたが、会場に着いた途端、マーチングバンドのトランペット！ドラム！きらびやかな衣装！たくさんの花車！あの空気を体で感じ、「来年は私も出る！」と思わず口走っていました。私も高校生の時にコカ・コーラの花車の上で踊ったことがあります。あの時の感動が再びよみがえってきたのです。

華やかなイメージのあるバトンですが、実は意外とハードです。バトンを投げてキャッチに失敗すると、顔にあたり目から星が出ます。体にあたると青あざができます。アクロバティックな動きもあり、足の肉離れをおこしたこともあります。長時間踊り続けるため、持久力も必要です。まさに汗と涙の踊る検査技師です。

今年もフラワーフェスティバルの季節がやってきます。サークルではパレードの練習の真っ最中です。みなさん、パレードでお会いしましょう。

平成20年5月分行事予定表

8	木	生涯教育講座第1回(広島地区) 「脳死判定から臓器移植」(仮題)	広島市立広島市民病院	18:30~20:00
9	金	第1回理事会・第2回常務理事会	広臨技事務所	18:30~20:30
14	水	第1回呉地区細胞診研修会	呉医療センター 臨床検査科 病理検査室	18:30~21:00
17	土	第一回血液形態セミナー -これから血液検査をはじめの方へ、 そして基礎を振り返ろう-	広島鉄道病院 2F 会議室	15:00~18:00
22	木	生涯教育講座第1回(広島地区) 「脳死判定から臓器移植」(仮題)	広島県民文化センター ふくやま 文化交流室	18:45~20:15
29~31	木~土	第57回日本医学検査学会(北海道)	札幌コンベンション センター	

平成20年5月の行事予定詳細は別紙、広臨技行事予定表でご確認下さい。